

まえがき

名古屋大学宇宙地球環境研究所 (ISEE) は、宇宙科学と地球科学を結びつける国内唯一の全国共同利用・共同研究拠点です。本研究所では、地球・太陽・宇宙を一つのシステムとして捉え、そこに生起する多様な現象を解明し、地球環境問題の解決と宇宙に広がる人類社会の発展に貢献することをミッションに掲げ活動しています。

過去の地球・太陽・宇宙システムの現象や変動特性を明らかにすることは、近未来の変化を予測する上で必要不可欠です。ISEE年代測定研究部では、加速器質量分析法 (Accelerator Mass Spectrometry: AMS) と CHIME (Chemical U-Th Total Pb Isochron Method) を主軸とし、「時間」あるいは「年代」をキーワードとして、人類を含む地球システムで生起する現象、太陽地球システムの相互作用の理解を目指した幅広い学際的な共同利用と共同研究を進めています。

本紀要「名古屋大学年代測定研究 vol. 5」は、2020年度にISEE年代測定研究部が進めた共同利用・共同研究の研究成果を中心にとりまとめました。また、年代測定研究部が運用しているタンデトロン加速器質量分析装置・CHIME装置の現状と稼動状況を収録しました。タンデトロン加速器質量分析装置は導入後26年が経過し、CHIME装置も製造から30年以上経過し、老朽化が否めませんが、共同利用・共同研究者のご協力を得ながら、年代測定法の高度化、新たな年代測定法の研究開発やその応用研究を進めています。これからも、皆さまからの新たな共同利用・共同研究の提案をお待ちしております。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、試料採取・フィールド調査のための出張ができなかったり、来所して実験を行うことができなかったりと、共同利用・共同研究の実施に大きな支障があった1年でした。2021年度は、新型コロナが収まり、共同利用・共同研究が活発に推進されること、そしてなにより、皆さまに再び本研究所でお会いできることを願っております。

名古屋大学宇宙地球環境研究所・年代測定研究部